

第1学年 組 学級活動（2）指導案

日 時：令和2年11月〇日第〇校時

場 所：1年〇組教室

指導者：担任・栄養教諭

1. 題材

「なんでもよくかんで食べよう」

学級活動（2）エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2. 題材について

（1）児童の実態

男子10人女子10人の学級である。全体的に元気で明るく、前向きに活動ができる児童も多い。給食の準備についても、自分たちの仕事を最後までやり切ろうと活動する児童が多くみられる。4月から、徐々に給食を食べる量が増え、食べきるのに要する時間も短くなってきた。しかし、自分の苦手な食べ物があるときは、残してしまったり、早く食べ終えたいがために流し込むようにして給食を食べたりする児童もいる。

（2）題材設定の理由

食べ物の好き嫌いで給食をえり好みをしたり、なるべく早く食べ終えようと流し込んだりする児童がみられる。そこで、好き嫌いなく、よく噛んで食べる良さを考える活動を通して、自分の給食の食べ方を振り返り、目標に向かって毎日の生活で実践しようとする心情を育んでいきたい。

3. 第1学年及び第2学年の評価規準

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	食べ物には、体にとって大切な働きがあり、好き嫌いせず食べたり、よく噛んだりすることのよさを理解することができる。	苦手な食べ物をあきらめず食べることの大切さや、よく噛むことのよさを知ることを通して、普段の食事で気を付けることをみつけることができる。	めあてをもち、苦手な食べ物にも挑戦して食べたり、噛む回数を意識したりすることができる。

4. 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・好きな食べ物、嫌いな食べ物について聞く。給食を食べながら、何回くらい噛んで食べているかを聞く。	・普段の給食や家庭での生活を想起させ、思いのままに回答をするよう働きかける。	・現在の給食における食べ方の課題が分かる（知識・技能）

5. 本時のねらい

栄養の働きや、咀嚼の利点を知ることを通して、好き嫌いなく、なんでもよく噛むことの大切さに気付き、自分の目標に向かって毎日の生活において実践しようとする意欲を持つことができる。

6. 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点		資料	目指す児童の姿と評価方法
		T1 (学級担任)	T2 (学校栄養士)		
導入 つかむ	1 給食（食べることに興味をもつ	<ul style="list-style-type: none"> 好きな食べ物、嫌いな食べ物、給食を何回くらい噛んで食べているかのアンケート結果を発表する。 課題を提示する。 			
		たべることやかむことのよさをしろう			
	<ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭を紹介する。 				
展開 さぐる 見つける	2 給食に含まれる栄養について知る。 3 かむことの良さを知る。	<ul style="list-style-type: none"> 食べることのよさについて予想する。 噛むことのよさについて予想させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 赤、緑、黄の栄養とその働きについて話し、食べることの良さを確認する。 噛むことの良さについて話をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○おいしさを感じやすくなる。 ○虫歯を予防する。 ○消化を助ける。 ○食べすぎを防ぐ ○集中力記憶力が高まる。 かんちゃんマークのついている日は、給食も噛むことを特に大切にほしい願いが込められている。 	栄養カード かむことの良さカード	<ul style="list-style-type: none"> 栄養には重要な働きがあるか理解することができる。（知識・技能） 【発言】 噛むことの良さについて理解することができる。（知識・技能） 【発言】
		すききらいせずによくかんでたべると、えいようをバランスよくとれて、つよくけんこうなからだをつくることができる。			
終末	5 給食の目標を考える。	<ul style="list-style-type: none"> これからの食事をするときの約束を考えさせる。 ☆三角食べをする。 ☆1口20回は噛んで食べる。 ☆嫌いなものも挑戦して食べる。 			<ul style="list-style-type: none"> 自分の約束を確認し、苦手な食べ物も進んで食べようとしたり、よく噛んで食べたりすることをカードに目標として書き込む。 【カード・発言】

7. 事後の指導

教科との関連・・・道徳 希望と勇気、努力と強い意志「おふろばそうじ」

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・給食時間を中心に、給食の約束を振り返り、目標が達成できたかカードに書き込む。	・食事中に学んだことを想起させるような声掛けをしたり、意識している児童を位置付けたりする。	・自分で決めた食事の約束を踏まえて、好き嫌いせず食べたり、噛むことを意識して食べたりしようとしている。(主体的に学習する態度)【カード・観察】